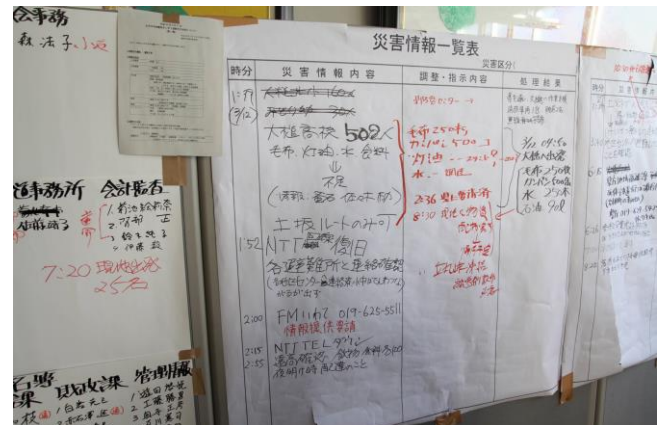


7. 展示「東北の今」被災地のことを忘れないために

① 遠野市役所（遠野市防災危機管理課より写真提供）



2011. 3. 11 災害対策会議



2011. 3. 12 災害対策本部内記録模造紙



2011. 3. 12 地震により全壊した市役所本庁舎



2011. 3. 16 高校体育館に宿営する支援消防隊



2011. 4. 1 炊き出しおにぎり包装作業



2011. 7. 15 遠野市仮設住宅「希望の郷 絆」

② 宮城県（宮城県防災砂防課より写真提供）

宮城県 H23東日本大震災 復旧状況 Miyagi Prefectural Government

災害復旧工事完了

平成27年3月20日 破損した物揚場を復旧しました。

仙台塩釜港(仙台港区)高砂船溜り・2号物揚場
(仙台市宮城野区向洋地区) 3.11伝承・減災ポポ外

宮城県 H23東日本大震災 復旧状況 Miyagi Prefectural Government

災害復旧工事完了

平成26年2月28日 高浦橋の復旧が完了しました。

主要地方道 相馬互理線 (山元町中浜地内)
3.11伝承・減災ポポ外

宮城県 H23東日本大震災 復旧状況 Miyagi Prefectural Government

災害復旧工事完了

平成27年3月20日 破損した船揚場を復旧しました。

仙台塩釜港(仙台港区)高砂船溜り・船揚場
(仙台市宮城野区向洋地区) 3.11伝承・減災ポポ外

宮城県 H23東日本大震災 復旧状況 Miyagi Prefectural Government

災害復旧工事完了

平成27年3月23日 消失した浮さん橋を復旧しました。

仙台塩釜港(松島港区)海岸前浮さん橋②
(松島町海岸前地区) 3.11伝承・減災ポポ外

③ 福島県（福島県広報課より写真提供）



自衛隊による行方不明者の搜索
(平成 23 年 4 月 30 日 南相馬市鹿島区)



地震により崩落した白河子峰城の石垣
(平成 23 年 3 月 11 日 白河市)



上空からの四倉湾の状況
(平成 23 年 3 月 11 日 いわき市四倉町)



津波の被害を受けた真野小学校
(平成 23 年 3 月 13 日 南相馬市鹿島区)



津波により押し流された重なり合う車
(平成 23 年 3 月 14 日 相馬市中村)



水素爆発と火災により破損した福島第一原発 4 号機
(平成 23 年 5 月 1 日 大熊町)



重機を使い搜索活動を行う警察職員
(平成 23 年 3 月 22 日 相馬市)



土砂崩れにより通行止めとなった国道 4 号線
(平成 23 年 3 月 11 日 福島市伏拝)

④ 朝日新聞社 CSR 推進部より写真提供



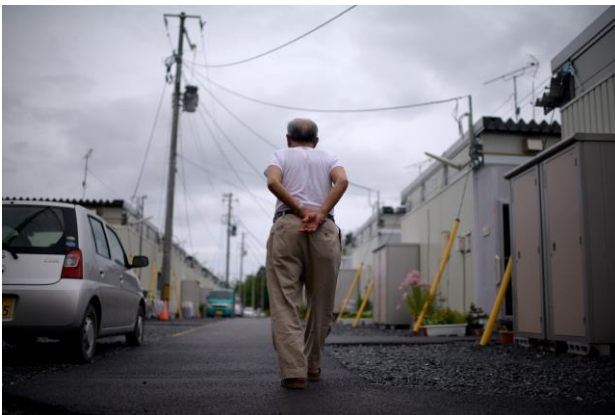
目の前一面に

気仙沼魚市場の水揚げ岸壁を越え、魚市場の裏手に流れ込んできた津波はこの後、市街地一帯を破壊し尽くした
(2011/3/11 宮城県気仙沼市)



見つけたよ

「あったあ!」。全壊した自宅の中からお気に入りのノートを見つけた小学2年生(2011/3/30 宮城県石巻市)



仮設の暮らしなお

岩手県陸前高田市の仮設住宅に82歳の妻と暮らす90歳の男性は、別の町に住む息子に面倒をかけたくないと仮設での生活を続けている。「被災地は忘れ去られたようなもんだ」と話した
(2013/7/8 岩手県陸前高田市)



帰ってきて

明かりを頼りに死者が帰ってくると言われる「松明かし」を自宅跡地でする女性。震災で母と祖母を亡くし、当時4歳の長男は行方不明。「いつまでもずーっと帰りを待ってるからね」
(2012/8/14 岩手県大槌町)



生きて!

がれきと化した集落から消防隊員らに救出される住民
(2011/3/12 宮城県名取市閉上)



どこにいるんだ

行方不明の娘を探して福島第一原発ちかくの海辺を歩く男性。震災発生当時7歳で小学校1年だった。一時帰宅のたびに捜索を続けている(2013/6/15 福島県大熊町)